

赤べこ 絵付け体験

会津柳津福満虚空藏菩薩圓藏寺へ十三講詣りをされた小学校6年生の皆さんを対象に、赤べこ絵付け体験の記念サービスを実施しています。赤べこ伝説発祥の地・会津柳津で、十三講詣りの記念に世界にひとつのオリジナル赤べこを作ってみませんか？

十三講詣り記念価格

絵付け体験 **半額**

※申込日ではなく絵付け体験実施日が基準となります
令和8年3月31日まで

対象者

圓藏寺にて十三講詣りの御祈禱を受けた方

※小学6年生に限る

- ・絵付け体験時に十三講詣りを証明するものをご提示ください。(御祈禱のお札・お守り等)
- ・絵付け体験1回の最大可能人数は40名です。(やないづ張り子工房Hitaritoは最大6名)
- ・40名を超える場合は回数を分けて実施します。
- ・団体でも個人でも結構です。

場所

憩の館ほっと
in やないづ

道の駅会津柳津
観光物産館清柳苑

つきみが丘
町民センター

or

やないづ張り子工房
Hitarito

JR 只見線会津柳津駅駅舎内

体験料金

ほっと in やないづ・観光物産館清柳苑・つきみが丘町民センター

やないづ張り子工房 Hitarito

半額料金

1,000円(通常2,000円)

申込み

希望日の1週間前までに、下記まで申込書を提出してください。

憩の館ほっと in やないづ
観光物産館清柳苑
つきみが丘町民センター

TEL 0241-41-1077 FAX 0241-41-1078

やないづ張り子工房
Hitarito

メール info@hitarito.com
TEL 0241-42-7333

>>>ご祈禱の申込みは

圓藏寺寺務所へお願い致します。

TEL 0241-42-2002 FAX 0241-42-2088

※予定人数になり次第終了となりますので、お早めに申込みください。

赤べこ伝説発祥の地

今から400年前、西暦1611年に会津地方を襲った大地震でここ柳津も大被害を受けました。圓藏寺のお堂をはじめ僧舎、民家が倒壊し多くの死者が出ました。その後1617年に初めてお堂は現在の巖上に建てられました。本堂再建に使われた大材は、只見川上流の村々から寄進を受け、只見川を利用して運ばれましたが、川から巖上に運ぶのに大変困り果てていました。すると仏のお導きか、どこからともなく力強そうな赤毛の牛の群れが現れ、大材運搬に苦勞していた黒毛の牛を助け、見事圓藏寺菊光堂を建てることができました。

十三講詣り

十三講詣りとは古来より、数え年十三歳に成長した男女が、成人の儀礼として虚空藏菩薩圓藏寺へ参拝しておりました。十三歳の厄災を払い、知恵を授けていただけるよう祈願致します。会津一円や米沢、新潟などで広く行われていた行事で、古来十三歳になった子どもは新調した衣装を着て親と共に陰暦三月十三日(現在の四月十三日)の虚空藏菩薩の縁日に詣り、名物のあわまんじゅうを食べ魚淵のうぐいを見て帰るのが習わしでした。こうした風習は現在でも受け継がれており、数え年十三歳になると柳津へ昔と同じように正装でお参りする姿が数多く見られます。